

ウツミリサイクルシステムズ(株)とのリサイクルペレット販売共同事業展開について ～循環型社会を目指して・リサイクル繊維への取り組み～

蝶理株式会社（大阪本社：大阪府中央区、東京本社：東京都品川区、社長：先瀆一夫、以下「蝶理」）は、廃ペットボトルの回収・洗浄・粉碎・ペレット製造を手掛けるウツミリサイクルシステムズ株式会社（本社：大阪府中央区、代表者：内海正顕、以下「ウツミリサイクルシステムズ」）に対し、リサイクルペレット押出機を貸与し、リサイクルペレット販売事業を共同で行うことを決定致しました。当該設備による製造量は約15,000トン/年です。総投資金額は約9億円となりますが、投資額の一部は公益財団法人廃棄物・3R研究財団より二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の認可を受けております。

近年、プラスチックごみによる海洋汚染問題の深刻化、有害廃棄物の輸出入規制の強化などにより、各分野でプラスチックの利用削減や再資源化への取り組みが拡大しています。海外大手アパレルを中心に、リサイクル素材への転換を掲げており、資源循環したプラスチックへの需要は今後も高まっていくと考えられます。

蝶理のリサイクル繊維への取り組みにおいては、これまでも再生ポリエステル系「ECO BLUE®」を展開しており、ウツミリサイクルシステムズと共同することで、不純物が少なく透明度の高い日本国内の廃ペットボトルを回収し、白度の高い高品質なペレットの安定的な供給が可能となります。また、原料から製品に至る各種データの記録管理を行うトレーサビリティを確保しており、将来的には完成したアパレル製品から蝶理が販売したペレットの使用を証明する識別情報の取得を可能とするなど、今後も安全品質に対応する生産体制を強化してまいります。

蝶理は、中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」の基本戦略の1つとして「成長分野への事業投資」を推進しております。今後も、長年培ってきた繊維原料の川上から最終製品に至る川下までの一貫したサプライチェーンを活用し、現在使用している石油由来のポリエステル系を再生系に変える循環型社会を目指した新しいビジネスモデルを構築し、社会・環境課題の解決に取り組んでまいります。

<リサイクルペレット>



(左) 従来品



(右) 国内廃ペットボトル製品

【ウツミリサイクルシステムズの概要】

社名：ウツミリサイクルシステムズ株式会社
代表者：内海 正顕
所在地：大阪府中央区久太郎町2丁目4番27号
設立：1993年
資本金：342百万円
売上高：4,992百万円(単体、2018年度)

以上

[お客さまからのお問い合わせ先]

蝶理株式会社 繊維第一本部 合織・テキスタイル部
担当者 佐久間・長谷川
TEL：080-2438-8753

[報道機関からのお問い合わせ先]

蝶理株式会社 経営管理部 IR・広報課
担当者 松浦・吉田
TEL：03-5781-6201